

海老名災害ボランティアネットワーク 2019年度 第5回(9月)定例会、議事録

開催日時：2019年9月4日(水) 19時~21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3娯楽室(1階)

出席：石橋、嶋原夫妻、鷺見、田村、中村、星野、松井、水本、三宅、山本、福田(議事録)計12名

【1】会計より報告(松井会計)

【2019年4月13日総会時の会員数】個人会員28名、賛助会員19名、団体会員3団体

①一般会計 2019年8月末日現在の残金 319,621円(-10,764円)、()内は前月比
個人会員26名(+1名)、賛助会員15名(+2名)、団体会員3団体(±0団体)

★2019年度・年会費未納の方は9月未までに納付してください(未納の方は、規約で退会となります)

②特別会計：2019年6月末日現在：46,000円(±0)

【2】活動報告；2019年8月1日~8月31日まで(○は交通費支給対象事業)

1) 8月8日(木) 18時~20時、DITSを利用した災害情報発信とネットワーク化の講演会○

主催：神奈川災ボラ、講師：内田理・東海大学情報理工学部教授(災害情報システムDITSの開発者)

会場：神奈川県民サポートセンター(横浜駅西口より徒歩5分)、定員30名、参加費無料

出席：福田博、嶋原義弘、田村英樹

2) 8月20日(火) 18時~20時、2019年神奈川シェイクアウト学習会○

主催：神奈川災ボラ、講師：神奈川県安全防災局災害対策課職員、

会場：神奈川県民サポートセンター、定員30名、参加費無料、出席：福田博、嶋原義弘

3) 8月31日(土)9時~12時ビックレスキュー神奈川(神奈川県・伊勢原市合同総合防災訓練)○

会場：伊勢原市総合運動公園、災害ボランティアセンター設置運営訓練は同公園内の小体育館内で実施。海老名災ボラの会員はボランティア役として参加。9時20分~10時30分で訓練終了。小体育館は小学校体育館程度の広さがあり、ゆったりとしたレイアウトで訓練することが出来た。マッチング班では、ポストイットを貼る方式でした。大体育館や公園内の展示を見学し、現地で解散した。

出席：佐々木、嶋原義弘・やわた、田村、福田、山下、山本、計7名。

【3】今後の予定(事業の進め方)；2019年9月1日~11月

1) 9月4日(水)海老名3者定例会、14時~ 出席：海老名災ボラ、福田、星野○

2) 9月4日(水)19時~海老名災ボラ9月定例会、福祉会館、第3娯楽室

3) 9月7日(土)13時~15時、サンパルク650：フェスティバルで防災・減災の展示○

会場：サンパルク650集会所及び駐車場、災ボラの展示・PR(日常備蓄、災害時トイレの活用)

出席予定：山下(サンパルク650)、中村(災害時トイレ)、山本(水食料品の日常備蓄)

4) 9月11日(水)11:30~12時イオン黄色いレシートキャンペーン○、出席予定：水本、募集

5) 9月13日(金)13時~海老名ボランティア連絡協議会・定例会○、出席予定：水本、野本

6) 9月28日(土)10時~12時30分、「防災マップづくり」体験講習会○

主催：海老名災ボラ、名義後援：海老名市(危機管理課)、海老名市社協

会場：海老名市総合福祉会館第1~第2会議室(2階)、対象：(海老名)市民30名程度

PR：「広報えびな」9月1日号に掲載、タウンニュース海老名版9月7日号か14日号に掲載予定。

今後、より小さな地域(例；自治会、コミセンなど)を対象として、防災マップづくりを普及したい。

それには、多くのファシリテーター（講師）が必要です。講師養成を含めた体験講習会としますので、多くの会員の参加を要請します。

出席予定：中村（講師）、福田、山下、田村、星野、嶋原、石橋、水本、山本、野中、（募集中）

7) 10月6日（日）午前9時～午後3時、海老名三館フェスティバル

会場：災ボラは、総合福祉会館2階（第4会議室内のNo1ブース）。展示は災害食、災害時トイレ。

出席予定：午前・水本、中村、田村、午後・水本、星野、三宅、（募集中）

8) 11月24日（日）、9時～13時、海老名ふれあい農業まつり

会場：グリーンセンター、展示は、災害時トイレ、災害食づくり。

8月17日に「JAさがみ海老名地区運営委員会事務局」に参加を申請した。（福田）

出席予定：中村敏一（災害時トイレ）、福田、（参加者募集中、11月6日（水）の定例会で決定）

【4】その他

1) 海老名災害ボラの会員内部用「会員名簿作成」のための「アンケート調査」の回収状況

9月4日（水）現在の回収数：個人会員/総数 29名のうち 20名、賛助会員総数 19名のうち9名、団体会員総数3団体のうち3団体を回収した。これで、回収を締め切り、会員公開用の名簿を作成し、全会員に配布する予定です（配布方法は、個人情報漏洩の危険性の低減を考慮して検討中）。

2) 2019年度災害救援ボランティアセンター「コーディネーター養成講座」の変更

海老名市社協から、9月4日の3者定例会で次の提案があり、海老名災ボラでも検討を要請されました。

①従来の養成講座・第1日目（座学）を養成講座から切り離して、「防災セミナー」という形に変更。

内容としては、海老名市内が大きな災害（地震だけでなく豪雨災害などを含む）にみまわれた場合に、海老名市の防災関係3団体（市、社協、災ボラ）がどの様な対応をするのかという事を、市民に説明する場としての防災講演会とする。対象は海老名市民とする。実施時期は、2020年1月頃。

②従来、養成講座の第2日目に実施してきた「災害救援センター立ち上げ訓練」は、今年度は実施しないで、次年度以降の課題とする。その代わりに、海老名市文化会館のロビー部分と総合福祉会館内の事務室を使った「災害救援ボランティアセンター設置運営」の詳細（資機材等の配置・利用できる部屋なども含めたレイアウト、各班の動き方の実際など）を、3団体の代表者等で検討していく「図上訓練的な作業」を実施する。2019年10月の3者定例会から、この作業を開始する。

上記の件について、9月4日（水）の海老名災ボラ定例会で検討した結果、社協の方針で了解した。

次回の定例会：10月2日（水）19時～21時、海老名市総合福祉会館、第3娛樂室（1階）

次々回の定例会：11月6日（水）19時～21時、海老名市総合福祉会館、部屋は未定。

以上